

# 石井修の住宅作品の主室へのアプローチ空間における外部環境との連続性の表現

## Sequential Expression in the approach space to the main room of Osamu Isii's housing works

奥山研究室 23M50155 川野 竜 (KAWANO,Ryu)

### 1. 序

石井修は、植生や風土といった敷地固有の条件に着目し、外部環境と一体となった住宅を多数発表した建築家である。こうした石井の作品における外部環境と住空間の関係性について、これまで言説や配置計画に着目した検討<sup>1)</sup>はされてきたが、外部環境との連続性という視点での研究は未だ見られない。例えば石井の住宅作品では、左右を擁壁で囲われたスロープを通過した後、閉鎖的な玄関から大開口がある主室へいたるといったアプローチから主室への空間（アプローチ空間）の開放性の変化や室内外を越境する素材表現により、多様な外部環境との連続性が創出されている。アプローチ空間におけるこうした表現は、石井の外部環境と一体となった住宅の特徴を捉える上で重要である。そこで本研究では、石井修の住宅作品<sup>2)</sup>における、アプローチ空間の開放形式と素材

表現から外部環境との連続性の表現を検討することで、住宅と自然環境の関係の一端を明らかにすることを目的とする。

### 2. アプローチ空間の開放性と素材表現の連続性

アプローチ空間の外部環境との連続性を、空間の開放性と素材表現から捉える。まず、図1に示すようにアプローチから主室に至るまでをアプローチ空間として抽出し、経路幅の拡がりや用途から空間単位に分節し、その種類を図2に整理した。

#### 2-1 アプローチ空間の開放性の連続

空間単位の開放性を床と左右の壁の開放度合いにより、6種類に分類した。さらに、同じ開放性の空間単位が連続したものを開放性の連続による〈統合〉とした(図3)。

#### 2-2 アプローチ空間の素材表現の連続

アプローチ空間の素材表現の連続性を検討するために、

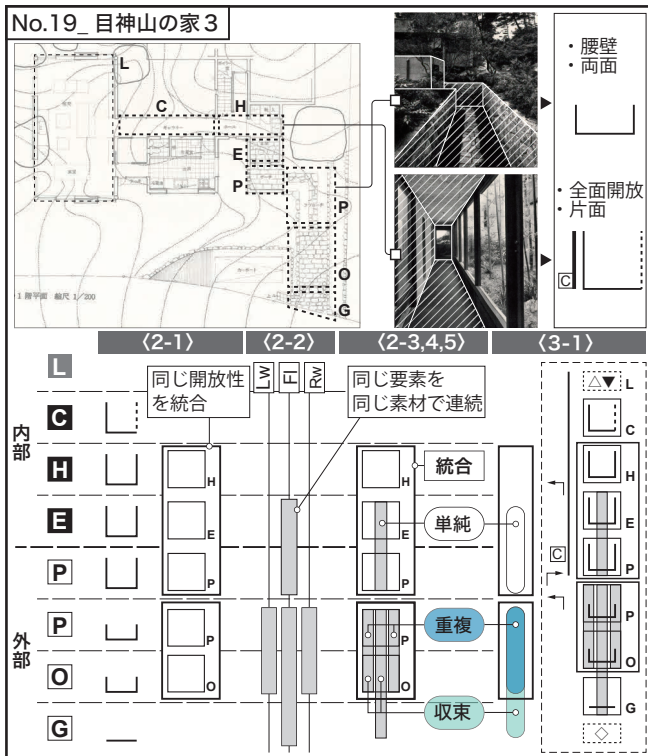


図1 分析例

| 外部 |     |      |    |      |      | 内部 |     |             |     |    |
|----|-----|------|----|------|------|----|-----|-------------|-----|----|
| 門前 | 通路  | ブリッジ | 階段 | トンネル | スロープ | 玄関 | ホール | 廊下<br>ギャラリー | 階段室 | 主室 |
| G  | P   | B    | O  | T    | SI   | E  | H   | C           | St  | L  |
| 54 | 112 | 3    | 37 | 1    | 3    | 64 | 58  | 20          | 32  | 62 |

図2 空間単位の種類

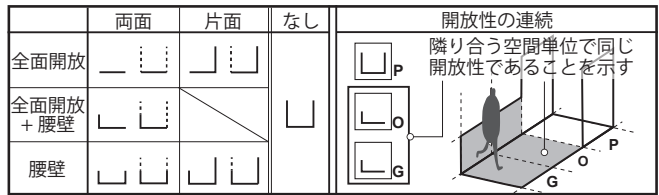


図3 開放性の種類と連続

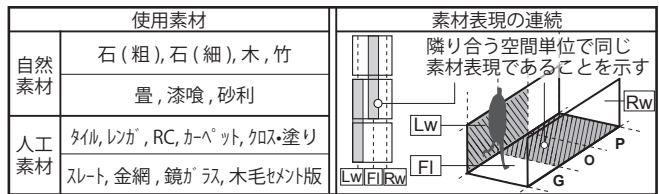


図4 素材表現の種類と連続

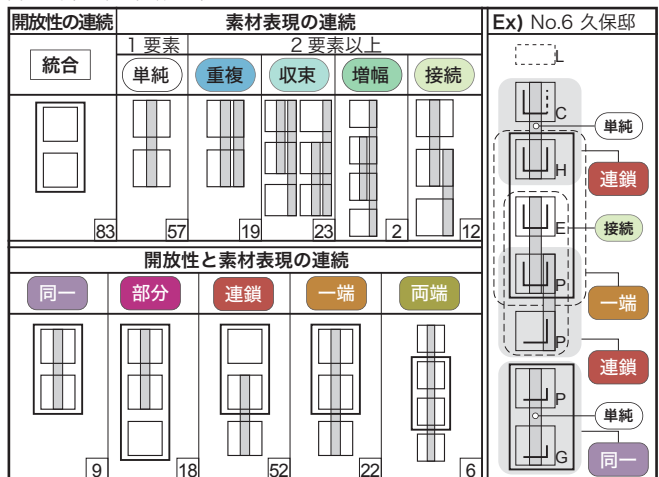


図5 開放性と素材表現の連続と組合せ



アプローチ空間の前後の空間への連続性を検討するため、住宅の敷地境界付近の外壁や塀に着目し、アプローチ空間への素材表現の連続を検討した(図10)。また、アプローチ空間と主室を繋ぐ壁の平面形状と、主室との境界における扉の有無から、アプローチ空間終端部の主室への連続性を検討した(図11)。

### 3-3 アプローチ空間の連続性

まず、素材表現の連続の組み合わせの種類を図12に整理した。それをもとに〈統合〉を併せて作品ごとに連続性の表現を位置づけた(図13)。はじめに全作品を2要素以上の素材表現の連続の有無によって分類し、2要素以上の素材表現がみられなかった作品は内外境界において連続がないもの、〈統合〉もしくは素材表現の連続があるもの、その両方によって連続があるものの3種類に分類し、それぞれを〔イ〕、〔ロ〕、〔ハ〕とした。一方、2要素以上の素材表現の連続がみられる作品は、その種類が1種類、2種類以上で分類し、さらに後者を2面以上の素材表現の連続の組み合わせから〔重複〕、〔収束〕、〔接続〕、〔重複〕と〔収束〕の組み合わせをそれぞれ〔ニ〕、〔ホ〕、〔ヘ〕、〔ト〕とした。

まず、〔イ〕において、内外境界に連続がない作品が7資料と多く、全ての作品の主室への接続部において壁の平面形状が直線状であるものがみられた。このことから、アプローチ空間の終端部において、平面的な連続性を重視したことがうかがえた。また、No.61 目神山の家2 1など5作品では周辺環境からアプローチ空間への接続がみられ、これらのことからアプローチ空間とその端部をそれぞれの独立に扱うことで、部分ごとで連続性を思考していると考えられる。

一方〔ロ〕、〔ハ〕は、開放性、素材表現のいずれか又はその両方で内外境界を連続している作品で、周辺環境からアプローチ空間への接続がみられない作品が大半であった。これは、地形や周辺住居といった周辺要素を考慮し、よりアプローチ空間内の連続性を優先させた表現だといえる。

〔ニ〕において、ほとんどの作品でアプローチ空間内で連続で統合された空間単位の複数のまとまりが独立していた。これは、〔重複〕の局所的な連続性で、アプローチ空間の一部で連続性の強調による空間を位置付ける表現といえ、例えばNo.13 奥山山荘では、長い直線のアプローチ、玄関部分がともに右壁が全面解放されることで開放性の連続がみられ、またそれらの構成面をレンガで統一

していることから素材表現の連続もみられるものである。しかし、当該連続直後で連続の連鎖、接続が見られないことから、本事例では玄関の局所的な連続性を強調しているといえる。

〔ホ〕、〔ヘ〕において、それぞれ5作品ずつみられ、これらほとんどにおいて**【連鎖】**がみられた。このことから、複数の連続同士が連なることでアプローチ空間を一体的な連続性で統合する表現であるといえる。例えば、No.17 炉の家はアプローチに配置された腰壁、外部から玄関を繋ぐ石畳、そして周辺環境から主室までを繋ぐ石壁によって、石壁を主体としその他の要素で補完し合うことで、一体的なアプローチ空間を形成しているといえる。

〔ト〕では9作品がみられ、具体的に検討すると〔収束〕をなす素材が他の素材との〔重複〕の連続を持つことによって、連続性の表現を補強している事例が多くみられた。例えば、No.26 目神山の家7では、敷地境界から両側面の石壁がポーチ手前で分断されるも、床の石畳は内外を越境し玄関へ侵入するように、収束の端部を重複により一部補強し、収束により内部に繋がる連続を引き起こしている。またその重なりあう部分が屋外でみられることから、〔収束〕と〔重複〕の組み合わせは屋外の連続をより強く内部に引き込む手法であるといえる。

## 4. 結

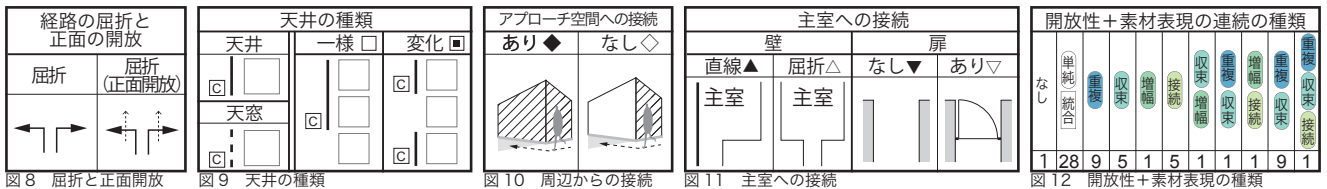
以上、石井修の住宅作品を資料に、アプローチ空間の開放性と素材表現による外部環境との連続性の表現を検討した。その結果、周辺環境からアプローチ空間を連続的に捉えるものから、異なる幅や用途の空間を局所的な連続性でまとまりを形成することで、アプローチ空間の一部を性格付けるものがみられた。また、そのほとんどで内外境界において連続がみられた。これらのことから、石井修の敷地固有の条件や風土を読み解く設計活動において、アプローチ空間を通した局所的、一体的な連続性は外部環境との連続性を形成するための重要な要素であると考えられる。

註

- 1) 石井修の独立住宅作品の空間構成とその手法に関する研究  
一阪神間独立住宅地における街並み形成への展開の可能性に着目して一
- 2) 本研究では、石井修の住宅作品のうち、アプローチから主室までの経路の構成面による開放性と、仕上げ素材が読み取れる62作品を資料とした。
- 3) ここでは、内部の最後の空間単位と、外部の最初の単位の連続部分とする

参考文献

- 1) 石井修, 「山あいに住む」『家』, 学芸出版社, p1-p.55, 1984
- 2) 「住空間と緑」『住宅建築別冊・34』, 建築資料研究社, 1988
- 3) 石井修, 「緑の棲み家」, 学芸出版社, 2000
- 4) 「建築家石井修 安住への挑戦」, 建築資料研究社, 2022



| 2要素以上の素材表現の連続なし (単純) |   | 2要素以上の素材表現の連続あり (重複 収束 増幅 接続)    |                                      |                     |                                       |                                 |                   |   |  |   |   |  |              |
|----------------------|---|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-------------------|---|--|---|---|--|--------------|
| 内外境界連続なし             |   | 内外境界連続あり                         |                                      | 素材表現の連続1種           |                                       |                                 |                   | 素材表現の連続2種以上   |  |   |   |  |              |
| 統合 or 単純             |   | 統合 単純                            |                                      | 重複 収束 増幅 接続         |                                       |                                 |                   | 重複 収束   |  |   |   |  |              |
| 内部 (イ)               |   | 内部 (ロ)                           |                                      | 内部 (ハ)              |                                       | 内部 (ニ)                          |                   | 内部 (ホ)  |  | 内部 (ヘ)  |   | 内部 (ト)   |              |
| 開放性の連続と素材表現の連続の関係    | [Diagrammatic representation of continuity types] |                                  |                                      |                     |                                       |                                 |                   |   |  |   |   |  |              |
| 外部                   | 7   | 13                               |                                      | 6                   | 9                                     | 5                               | 1                 | 5   | 3  | 3   | 9                                       | 1  |              |
| 素材表現と開放性の連続          | [Material continuity icons]                       |                                  |                                      |                     |                                       |                                 |                   |   |  |   |   |  |              |
| 天面                   | [Roof continuity icons]                           |                                  |                                      |                     |                                       |                                 |                   |   |  |   |   |  |              |
| 資料番号/作品名             | 58 61 56 54 53 48 45                              | 50 38 29 8 7 4 3                 | 62 60 55 39 37 1                     | 59 49 40 33 32 31   | 57 46 35 23 21 13 12 11 5             | 42 36 17 16 2                   | 47                | 44 43 24 15 6   | 52 18 9                                    | 41 27 14                                      | 51 30 28 26 25 22 20 19 10              | 34   |              |
|                      | 目神山の家17   | 目神山の家15<br>藤ノ台の家<br>田舎の家<br>湯元の家 | 新千里の家2<br>福井の家<br>画家の家<br>聖山荘<br>井上邸 | 目神山の家22<br>アトリエのある家 | 桜ヶ丘の家<br>訪季庵<br>塩屋の家<br>T氏邸<br>鷺林寺の家5 | 茅ヶ崎の家<br>箕面の家<br>竹城台の家<br>甲陽園の家 | 目神山の家16<br>連子松子の家 | 西向きの家<br>栗の木山荘<br>松のある家<br>奥山山荘<br>新千里の家<br>目神山の家4<br>目神山の家 | 錦恵庵<br>目神山の家10<br>中島さんの家<br>青山台の家<br>西山の家1 | 久保邸<br>目神山の家2<br>目神山の家5<br>目神山の家11<br>目神山の家12 | 鎌倉の家<br>石壁の家<br>濱吉さんの家<br>中山台の家<br>回廊草庵 | 松の木のある家<br>光明台の家<br>目神山の家8<br>目神山の家7<br>目神山の家6<br>茶山台の家<br>剣谷の家1<br>目神山の家3 | 万樹園<br>天ヶ地の家 |

